日本学術会議公開シンポジウム

植物病虫害・雑草管理の再構築

ーIPMへの取り組みを中心にー



「みどりの食料システム戦略」では、化学農薬使用量（リスク換算）の低減が掲げられています。一方、食料安全保障の重要性が高まり、病害虫の発生予防及びまん延防止も求められています。環境負荷の低減と安定的な食料生産を両立するため、IPMを中心とした病害虫・雑草管理の見直しが必要です。

本シンポジウムでは、制度・施策と生産現場の実践事例・課題を共有し、今後の植物病虫害・雑草管理の再構築を議論します。

令和8年（2026年）
11月28日（土） 13:00～17:20

日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-28-34）
ハイブリッド開催（会場・オンライン）

一般参加 可能｜参加費無料

主　催　日本学術会議農学委員会
農学委員会植物保護科学分科会

共　催　日本植物保護科学連合

プログラム

13:00 開会挨拶
渡辺 京子（日本学術会議第二部会員／植物保護科学分科会委員長／玉川大学農学部教授）

13:05 総合防除の実践が切り拓く病害虫・雑草防除
～生産現場への浸透に向けた具体的方向性～
白石 正美（農林水産省消費・安全局植物防疫課防疫対策室長）
[座長]松本 宏（日本学術会議連携会員／筑波大学名誉教授）

13:40 IPM再構築に向けた構成要素の探索
－食品添加物・植物・微生物が拓く新たな植物病害管理－」
池田 健太郎（法政大学生命科学部准教授）
[座長]越智 直（農研機構植物防疫研究部門上級研究員）

14:15 微生物除草剤による雑草管理の可能性と展望
泉 真隆（京都大学農学研究科助教）
[座長]黒川 俊二（京都大学農学研究科教授）

14:50 休 憩（10分）

15:00 ジャスモン酸を介した植物防御の制御と応用
－害虫忌避剤の開発と新たな食用資源の創出－
安部 洋（理化学研究所バイオリソース研究センター専任研究員）
[座長]草島 美幸（慶應義塾大学法学部助教）

15:35 イノベーションの罠から抜け出すためのIPM
笠井 敦（静岡大学農学部生物資源科学科准教授）
[座長]大井田 寛（法政大学生命科学部教授）

16:10 農業生態系保全と総合的病害虫・雑草管理における農薬が果たす役割
山本 敦司（東京農業大学客員教授）
[座長]水口 智江可（名古屋大学大学院生命農学研究科准教授）

16:45～17:15 総合討論
[司会]西田 智子（日本学術会議連携会員／農業・食品産業技術総合研究機構理事）

17:15 閉会挨拶
與語 靖洋（日本植物保護科学連合運営委員会副委員長／日本植物調節剤研究協会技術顧問）

参加申し込み
QRコードまたは下記のURLのフォームよりお申込みください
https://forms.gle/b4MVAAPpnG4LFWZi6

お問い合わせ
フォームから申し込みができない場合は、890090@eve.tamagawa.ac.jp までご連絡ください。
メールの件名は、【病害虫シンポジウム】〇〇〇（要件）としてください。